

令和4年度学校評価報告書

令和5年(2023年)3月29日

北海道教育委員会教育長 様

北海道白糠高等学校長 田村 信 明



次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 新学習指導要領に向けた指導と評価の充実、並びに基礎・基本の定着と学習習慣の確立に努める。
- (2) 生徒の主体的な自己管理能力を高め、望ましい基本的生活習慣の定着に努めるとともに、家庭・地域と連携しながら生徒理解に努め、自他の生命を尊び自立心と他を思いやる心を保つ生徒を育成する。
- (3) スクール・ポリシーに基づいたキャリア教育を行い、主体的に進路を選択しながら地域の未来を創る生徒を育成する。
- (4) 健康・安全についての理解を深め、自他の生命の尊重と安全・環境への意識の向上に努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	- 各教科・科目における一時間毎の目標を明確に提示することで、個々の生徒の基礎・基本の定着度を具体的に把握した。 - 公営塾と連携し、放課後、スタディ・サブリ活用による学習の確認と振り返りを実施したことで、一斉授業で理解が不十分だった部分の見直しを図ることができた。	- 先生方が授業でICTの活用を進めており、生徒の興味・関心を引き出す工夫がなされている。 - 学習に不安を抱えたまま入学した生徒が、公営塾に多くの期待を寄せている。ぜひ今後も連携し、生徒の学習意欲の向上と学力向上に努めてほしい。
改善方策	- それぞれの学びが生徒自身の成長や将来の生活にどのように関わり、役立つのかを各教科の視点から生徒に伝え、生徒の学習意欲や学習習慣の向上につなげる。 - スタディ・サブリの活用について、さらなる工夫と改善を行う。	
進路指導	- 志望校や具体的な就職先が明確な生徒に対して、公営塾と連携しながら個に応じた指導を充実させることで、国立大学の合格を始めとした進路実現を図ることができた。 - 地元企業等のサポートもあり、自身のキャリアや社会の中での責務や意義を理解し、進路意識の向上に繋げることができた。	- 国立大学合格に向けて実力をつけている生徒もあり、生徒の頑張りはもとより、先生方や公営塾スタッフの日頃の熱意あるご指導の成果である。 - 素直で真面目な生徒だが、やや消極的である。体験授業やインターンシップ等を通して、さらに社会性を身に付けさせてほしい。
改善方策	- 公営塾とのさらなる連携を図り、個別指導の充実を図る。 「産業社会と人間」の内容を精査し、職業生活にかかわる体験的な学習を通して、キャリア形成のための基礎的・汎用的能力のさらなる育成に繋げる。	
生徒指導	- 年間の生徒指導事故0件。反面、遅刻件数が膨大であり、基本的生活習慣の改善と高校生活への意欲向上が課題である。 - いじめの認知4件。即時面談や指導を行ったことにより、いじめの拡大や重大事故の防止を図ることができた。	- 生徒が落ち着いており、安心して子どもを任せられる学校である。外部にそのことを情報発信してほしい。 - SNSなどの大人がみえていない部分を含めると、認知数以上に問題を抱えている生徒がいるのではないかと引き続き、心の教育を充実させてほしい。
改善方策	- 関係機関や家庭との連携を継続・強化し、不適応生徒や情緒の安定を欠く生徒、特別支援教育的な配慮を要する生徒の実態を把握し、教職員全体で生徒理解を深める。 - いじめアンケートだけでなく、日常の生徒の様子を丁寧に観察し、いじめに繋がりうる言動・行動への一貫した指導と早期発見に努める。	
教職員の「働き方改革」	働き方改革推進により、教員が日々の生活の質や教職生活を豊かにし、自らの人間性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができることを、定時退勤日や学校閉庁日の設定・周知により伝えた。	- 先生方が学校のために力を尽くす様子がいつも伝わってくる。 - 部活動については、地域との連携や協力を仰ぎ、顧問の過度な負担をできる限り抑えられたらと思う。
改善方策	- 今後も機会のある度に、教職員の「働き方改革」に向けた取組の意義・意味を伝え続け、教職員の意識改革に努める。 - 積極的な定時退勤、業務負担の偏重についての有効な方策を検討する。	
公表方法	- 学校だよりや学校ホームページ等で公表する。 - 学校運営協議会やPTA総会等で公表する。	

3 添付資料

- ・令和4年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)
- ・令和4年度 学校評価(保護者・地域住民・教育関係者評価)

令和4年度 学 校 評 価 書

学校名	北海道白糠高等学校 全日制課程
-----	-----------------

1 重点目標

- 新学習指導要領に向けた指導と評価の充実、並びに基礎・基本の定着と学習習慣の確立に努める。
- 生徒の主体的な自己管理能力を高め、望ましい基本的生活習慣の定着に努めるとともに、家庭・地域と連携しながら生徒理解に努め、自他の生命を尊び自立心と他を思いやる心を保つ生徒を育成する。
- スクール・ポリシーに基づいたキャリア教育を行い、主体的に進路を選択しながら地域の未来を創る生徒を育成する。
- 健康・安全についての理解を深め、自他の生命の尊重と安全・環境への意識の向上に努める。

2 経営方針

- 校内組織の活性化を図るとともに、教職員の学校経営参画意識の高揚を図り、協働意欲に満ちた活力ある学校づくりに努める。
- 保護者や地域の方々、関係機関等からの支援と協力のもと、質の高い教育が提供できる学校づくりに努める。
- 積極的な情報提供や学校評価の充実などにより、保護者や地域の方々から信頼・支持される学校づくりに努める。
- 教員が子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう、働き方改革を推進する。

3 自己評価結果について学校関係者評価実施

○自己評価の達成状況・適切さの欄は（「A＝十分である」、「B＝概ね十分である」、「C＝不十分である」、「D＝改善を要する」）を示す。

○右の欄、学校関係者評価：自己評価の適切さの欄は、

（「A＝適切な評価である」、「B＝概ね適切な評価である」、「C＝評価がやや不十分である」、「D＝改善を要する」）を示す。

○右の欄、学校関係者評価：改善に向けた取組の適切さの欄は、

（「A＝適切な取組である」、「B＝概ね適切な取組である」、「C＝取組がやや不十分である」、「D＝改善を要する」）を示す。

※青い部分が教職員による自己評価結果等、黄色い部分が学校関係者評価結果である。

※学校関係者評価は評議員により実施。

分野 領域	重点的な取組内容（上段）	自己評価		改善の方策	学校関係者の評価		
	評価指標・評価基準（中段）	達成 状況	取組の 適切さ		自己 評価 の適 切さ	改善 への 取組 の適 切さ	意見
	具体的取組の状況（下段）						
学習指導 の改善・ 充実		B	B	自己成長や将来の生活全般にいかに関与 つかわしをしっかりと伝え、「身近なもの」に結 びつけることを意識したり、1時間毎の目 標を明確にしたりする必要がある。生徒の 変容に合わせて、既習事項の振り返りや、 基礎のさらなる定着を重視した授業展開 に努めていきたい。	3.3	3.4	○ICTの活用 により興味・ 関心を引き出 している。 ○公営塾との 連携強化を望 む。
	授業評価アンケートにおいて、上記項目で肯定の回答が9 4.1%と達成できている。	3.3	3.3				
		B	B	単元の指導計画を作成・実施することで、 課題や取組の視点・評価の観点を明確にす ることが必要である。自ら学習する習慣や 問題解決に取り組む姿勢が身に付いていな い。生徒が取り組んだ結果が喜びを感じる ような指導や声かけを工夫し、久遠塾やス タディサプリの活用を推進していきたい。	3.3	3.6	○大学進学な ど上を目指す 意欲を育てて ほしい。
	2・3年生の成績優秀者がそれぞれ50%以上。成績不振 者が合わせて1名。1年生は年間を通して減少傾向にあ る。	3.1	3.1				
保護者 ・地域へ の情報の 発信	保護者・地域・関係機関と交流を深め、特色ある教育活動 の展開を行い、外部発信を行う。	A	A	地域の方々とは極めて協力的である。部活動 の指導を通じた保護者との関わりや保護 者を巻き込んだ行事の開催、コミュニティ スクールでのさらなる活動を展開してい きたい。また、HPや本校のSNSに、毎 月1回部活動の様子や、授業の様子をこれ まで以上に情報発信していきたい。	3.4	3.4	○魅力的な取 組が多いが、 あまり外部に 周知されてい ない。 ○生徒が地域 で活躍する場 が必要。
	ホームページアクセス数 年間6万回以上（月5千） ホームページ更新回数 80回以上（月7回） 地域交流・地域行事・小中高連携 年間10回以上 アクセス数 月平均7千以上、更新回数 82回（R4/12/28 現 在）各教科において、地域連携を積極的に実施。	3.4	3.4				
PTA活 動の活発 化	PTA活動の活性化、推進に努める。	B	A	保護者の方々には寸暇を惜しんで行事等に 参加して下さるので、極めて協力的であ る。今後は、保護者向け行事の開催や、P TA総会の開催方法を工夫することで、こ れまで以上に参加者を増やし、積極的な活 動を行ってほしい。	3.4	3.4	○学校祭、そ ば打ちなど、 保護者自身も 楽しんで参加 している様子 が見られる。
	PTA活動参加者 保護者 各10名以上 教職員 各15名以上 PTA総会・役員会・学校祭模擬店・PTA研修会（そば 打ち体験）の実施。参加保護者はいずれも10名以上。	3.3	3.5				

分野 領域	重点的な取組内容（上段）	自己評価		改善の方策	学校関係者の評価		
	評価指標・評価基準（中段）	達成 状況	取組の 適切さ		達成 状況	取組 の適切 さ	意見
	具体的取組の状況（下段）						
組織的・ 計画的進 路指導の 充実	（進学）生徒に対して志望校合格のための適切な指導と情報提供を行い、公営塾などと連携し、第一志望校合格と進学後に必要な学力を身に付けさせる。学習目標を早期に定め、学習の方向性を育み、個に応じた指導を充実させる。 進学決定率100%	B	B	面談などを通して早期に生徒の進路目標を定め、教員、公営塾と受験指導の方針について共通理解を図り、個別の指導による学力向上に取り組む。また、生徒にはより高い目標、第一志望校合格に向けて、諦めない、安易に妥協しない姿勢を身に付けさせる。進学後を見据えた学力向上と学習習慣の確立を目指す。	3.6	3.7	○国公立大学を目指す生徒もあり、生徒の頑張りはもとより、先生方や公営塾スタッフの熱意あるご指導の成果である。
	進学希望者9名中9名合格 （令和5年3月24日現在）	3.3	3.3				○素直で真面目な生徒だが、やや消極的である。体験授業やインターンシップ等を通して、さらに社会性を身に付けさせてほしい。
	（就職）社会的・職業的自立に向けて必要な基礎となる資質・能力を身に付けさせるとともに、望ましい職業観、職業観を育成する。個に応じた就職指導を展開し、生徒が主体的に取り組む力を身に付けさせる。地域協働を推進（コンソーシアム）や関係機関、保護者等と連携し、生徒に対して適切な指導と情報提供を行う。 0回受験者0名	B	B	生徒が自己理解を深め、自分に必要な資質・能力を身に付けることで主体的な進路選択を実現する。また、学校全体、保護者、地域の方と目標高校として身に付けさせる力について共通理解を図る。地域の方や地元企業の協力のもと、インターンシップや進路行事を実施し、大人とのコミュニケーション力、社会で求められるルールやマナー、仕事への姿勢などを学ぶ。	3.1	3.6	
	0回受験者0名 就職希望者10名中10名内定（令和5年2月3日現在）	3.1	3.1				
自立心を 育てる指 導の徹底		B	C	Q-Uテストは次年度も引き続き実施し、分析と活用のための校内研修を行い、生徒理解に努める。 スクールカウンセラーとの面談を通じて学校生活に前向きに取り組むことができるようになった生徒もいる。	3.1	3.1	○生徒が落ち着いており、安心して子どもを任せられる学校である。外部にそのことを情報発信してほしい。
	・Q-Uは年2回行った ・学年を中心にQ-Uの結果を検証し、面談等に活用した。	2.9	2.8				○SNSなどの大人がみえていない部分を含めると、認知数以上に問題を抱えている生徒がいるのではないかと、引き続き、心の教育を充実させてほしい。
基本的な 生活習慣 マナーや モラルに 関して組 織的な指 導体制の 確立	基本的生活習慣（あいさつ、言葉遣い、身だしなみなど）の確立に向けた指導が効果的。指導上有効的。指導体制の確立。自己指導能力の向上が図られた。	C	B	現在は基本的生活習慣（あいさつ、言葉遣い、身だしなみなど）が身に付いている生徒が多く、学校全体が良い方向へと向かっている。継続した指導を実践していきたい。 一部、基本的生活習慣が確立されていない生徒には置刻の回数等を見える化し、情報共有しやすく、生徒にもわかりやすいように改善する。	3.1	3.0	
	・できる指導の実践。 ・年3回のあいさつ運動や各種委員会でPDCAの実践を試みている。 ・身だしなみは各クラス代議員が中心となり自ら正していこうという取り組みが見られた。	2.8	3.0				
他者を思 いやる心 と道徳心 の育成	通言や集会、講演会等を活用し規範意識を育て、SNSの正しい使い方を身に付けさせ、部活動中傷やいじめといった問題行動を未然に防ぐよう未然防止に努める。いじめ被害の防止のためのアンケートを年間2回実施。 積極的ないじめの防止。 いじめのない学校生活が送れている。	B	B	面談や生徒観察を通じて、いじめが発展しないよう指導することができた。今後も細かなサインを見逃さないようにしたい。	3.3	3.4	
	・いじめアンケートの結果を共有し、個別面談を通じて未然防止のための指導をすることができた。	2.9	3.0				
教職員の 「働き方 改革」に 向けた方 針等	○働き方改革に関する校内研修、学校評価の実施。 ○学校閉庁日、定時退勤日、部活動休養日の設定。 ○業務の平準化・効率化に関する業務改善、健康安全管理の実施。 ○学校閉庁日の設定（年間9日間） ○定時退勤日の設定（月2日間と定期考査期間） ○部活動における休養日の設定（年間73日以上） ○学校閉庁日を年間9日間設定。閉庁日に勤務する状況は見られず、教職員の理解が得られている。 ○第1・3金曜日を原則として定時退勤日としているが、会議や学校行事等の状況に応じて設定日を調整するなど、柔軟に対応している。しかし、若干形骸化している状況もあり、別日での確実な取得の呼びかけや働き方改革の目的等の周知を改めて行う必要がある。 ○時期により偏りはあるが、年間を通しては適切に休養日を設定できている。	B	B	年度初めに年間の定時退勤日を設定し、教職員が計画的に業務を遂行できるよう配慮する。行事等との兼ね合いでやむを得ず設定日を変更する場合にも、すみやかに周知するよう留意する。 部活動における休養日の設定等については、道教委の定める規程の範囲内に収まっているが、今後も着実に継続する。 校務分掌や学年における業務内容の精選を図り、不要な業務を積極的に減らすとともに、全教員で業務を分かち合う雰囲気と体制作りについて、管理職が主体となって継続的に取り組む。	3.3	3.1	○先生方が学校のために力を尽くす様子がいつも伝わってくる。 ○部活動については、地域との連携や協力を仰ぎ、顧問の過度な負担をできる限り押さえられたらと思う。
		3.1	3.2				

※学校関係者評価は学校評価員によって行う。記述部分は抜粋及び要約をしたものである。

学校関係者の評価は、評価平均値により次の評価基準によってA～Dの評価をしている。

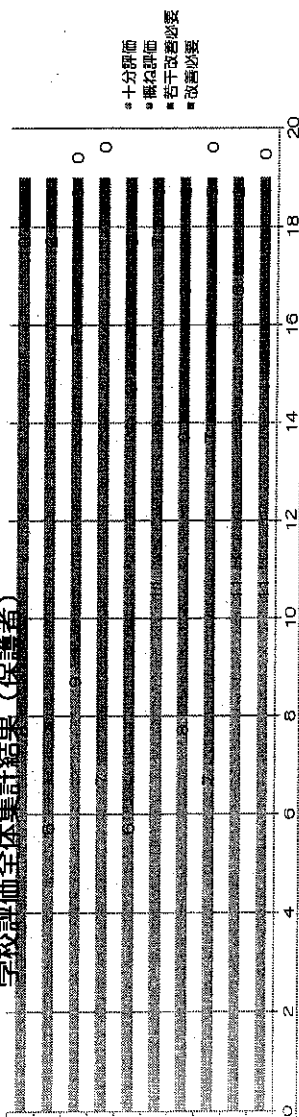
評価基準（1≤D<2.3 2.3≤C<2.9 2.9≤B<3.4 3.4≤A≤4）

＜学年別集計＞

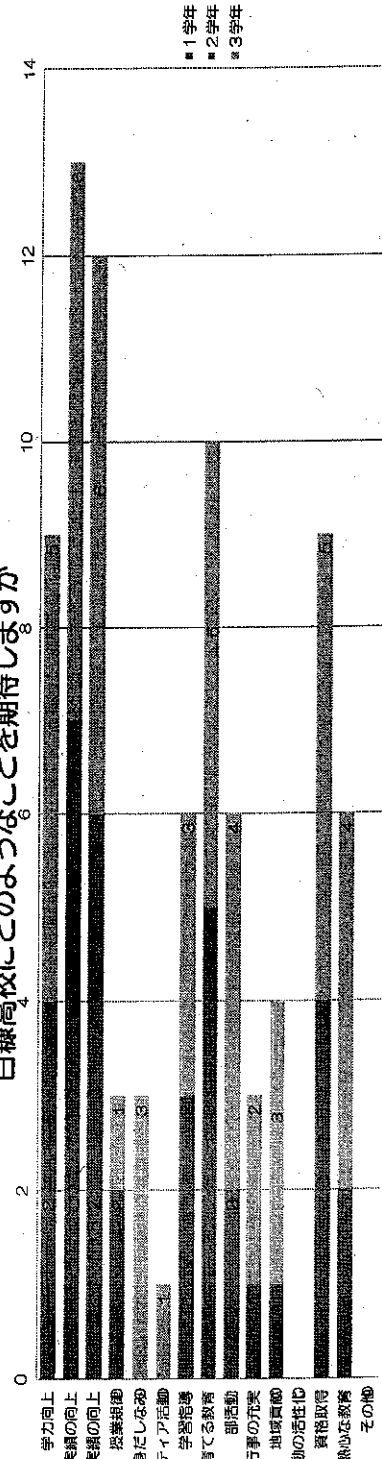
過去5年間の集計結果																				
質問事項		1学年 4名		2学年 5名		3学年 10名		全体 19名		解答 19名	H3 26名	R2 41名	R1 16名	H30 26名	H29 18名					
1. 学校の様子を地域や保護者に発信している		4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	19名	337	335	317	344	319	333
2. 地域交流及び地域へのボランティア活動に取り組んでいる		2	0	2	0	2	1	2	0	7	3	0	0	11	4	4	0	3	347	344
3. 生徒の実態に応じた学習指導に取り組んでいる		2	1	1	0	2	3	0	0	7	2	1	0	11	6	2	0	3	347	338
4. 学習習慣の定着に向けた学習指導に取り組んでいる		1	2	1	0	0	3	2	0	6	2	2	0	7	7	5	0	3	311	333
5. 基本的学習習慣の定着を目指した生徒指導に取り組んでいる		1	3	0	0	0	2	2	1	7	1	1	1	8	6	3	2	3	305	289
6. 部活動の活性化に取り組んでいる		3	1	0	0	1	3	1	0	7	3	0	0	11	7	1	0	3	323	294
7. 学校行事の工夫・改善に取り組んでいる		0	2	2	0	1	3	1	0	5	4	0	1	6	9	3	1	3	315	244
8. 生徒の進路実現に向けた進路指導に取り組んでいる		0	3	1	0	1	4	0	0	6	4	0	0	7	11	1	0	3	358	317
9. PTA活動の活性化に取り組んでいる		1	2	1	0	1	3	1	0	7	2	1	0	9	7	3	0	3	332	333
10. 教職員の働き方改革を推進している		0	3	1	0	0	5	0	0	6	4	0	0	6	12	1	0	3	373	
		2	2	0	0	1	3	0	1	5	5	0	0	8	10	0	1	3	388	311

学校評価全体集計結果（保護者）

10. 教職員の働き方改革を推進している
9. PTA活動の活性化に取り組んでいる
8. 生徒の進路実現に向けた進路指導に取り組んでいる
7. 学校行事の工夫・改善に取り組んでいる
6. 部活動の活性化に取り組んでいる
5. 基本的学習習慣の定着を目指した生徒指導に取り組んでいる
4. 学習習慣の定着に向けた学習指導に取り組んでいる
3. 生徒の実態に応じた学習指導に取り組んでいる
2. 地域交流及び地域へのボランティア活動に取り組んでいる
1. 学校の様子を地域や保護者に発信している



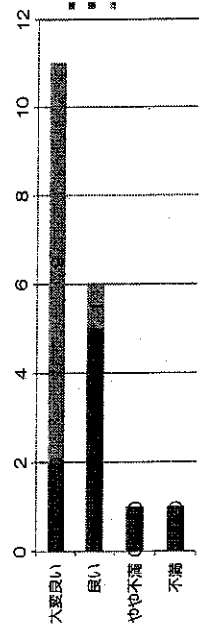
白糠高校にどのようなことを期待しますか



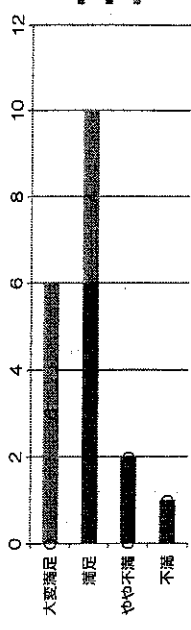
○意見や要望等

大変お世話になりました。今後とも何らかの形でご協力させて頂ければと思います。○ありません。

白糠高校に入学させて良かったと思いますか



白糠高校の生活に満足していますか



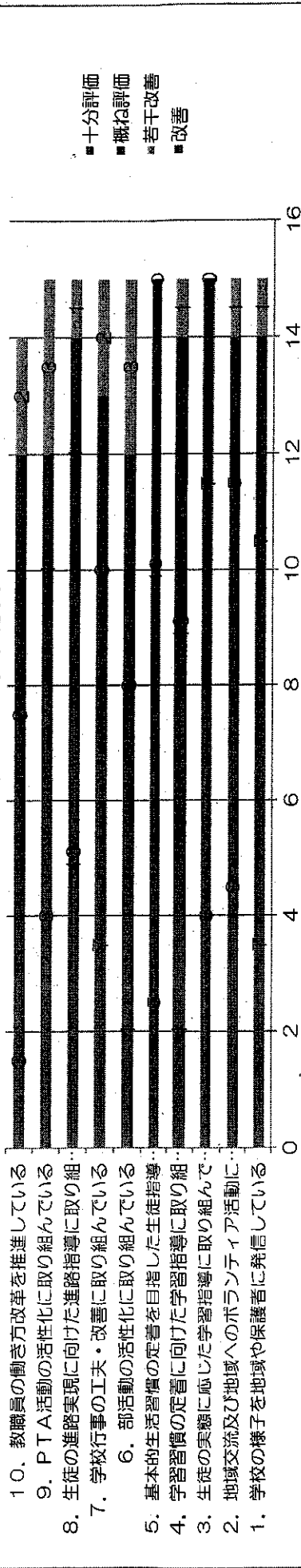
白糠高校に入学させて良かったと思いますか	1学年	2学年	3学年	全体
大変良い	2	0	9	11
良い	1	4	1	6
やや不満	0	1	0	1
不満	1	0	0	1

白糠高校の生活に満足していますか	1学年	2学年	3学年	全体
大変満足	0	0	6	6
満足	3	3	4	10
やや不満	0	2	0	2
不満	1	0	0	1

白糠高校にどのようなことを期待しますか	1学年	2学年	3学年	全体
学力向上	2	2	5	9
進路実現の向上	3	4	6	13
就職実績の向上	2	4	6	12
授業改善	0	2	1	3
身だしなみ	0	0	3	3
ボランティア活動	0	0	1	1
学習指導	1	2	3	6
心を育てる教育	3	2	5	10
部活動	2	0	4	6
行事の充実	1	0	2	3
地域貢献	0	1	3	4
PTA活動の活性化	0	0	0	0
資格取得	1	3	5	9
熱心な教育	1	1	4	6
その他	0	0	0	0

質問事項	地域住民				教育関係機関				全体					過去5年間の集計結果				
	十分評価	概ね評価	若干改善	改善	十分評価	概ね評価	若干改善	改善	十分評価	概ね評価	若干改善	改善	回答15名	R3 9名 (0+9)	R2 4名 (0+4)	R1 15名 (9+6)	H30 22名 (13+9)	H29 20名 (12+8)
														平均点	平均点	平均点	平均点	平均点
1. 学校の様子を地域や保護者に発信している	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	340	344	367	387	295	325
2. 地域交流及び地域へのボランティア活動に取り組んでいる	2	1	0	0	5	6	1	0	7	7	1	0	353	356	344	367	345	345
3. 生徒の実態に応じた学習指導に取り組んでいる	2	1	0	0	6	6	0	0	8	7	0	0	353	356	367	347	305	275
4. 学習習慣の定着に向けた学習指導に取り組んでいる	2	1	0	0	2	9	1	0	4	10	1	0	320	333	356	333	295	250
5. 基本的学習習慣の定着を目指した生徒指導に取り組んでいる	2	1	0	0	3	9	0	0	5	10	0	0	333	333	356	347	277	255
6. 部活動の活性化に取り組んでいる	2	1	0	0	2	7	3	0	4	8	3	0	307	300	289	347	286	270
7. 学校行事の工夫・改善に取り組んでいる	1	2	0	0	6	4	2	0	7	6	2	0	333	311	322	367	318	270
8. 生徒の進路実現に向けた進路指導に取り組んでいる	3	0	0	0	7	4	1	0	10	4	1	0	360	367	367	360	336	275
9. PTA活動の活性化に取り組んでいる	3	0	0	0	5	4	3	0	8	4	3	0	333	311	322	340	336	275
10. 教職員の働き方改革を推進している	2	1	0	0	1	8	2	0	3	9	2	0	307	311	322	340	332	315
													334	332	341	353	310	287

地域・教育関係機関の学校評価



○意見やご要望等 [上段：地域住民 下段：教育関係機関]

学校のために力を尽くす様子がいつも伝わってきます。応援しています。○より魅力ある学校として、積極的に情報発信並びに地域行事への参加を期待しています。白糠高校は現在、素晴らしい高校です。それを町民をはじめ多くの方々に知って頂きたいと思っています。これからも全力で応援します。